

トップニュース

親鸞 生涯と名宝

親鸞聖人生誕850年特別展

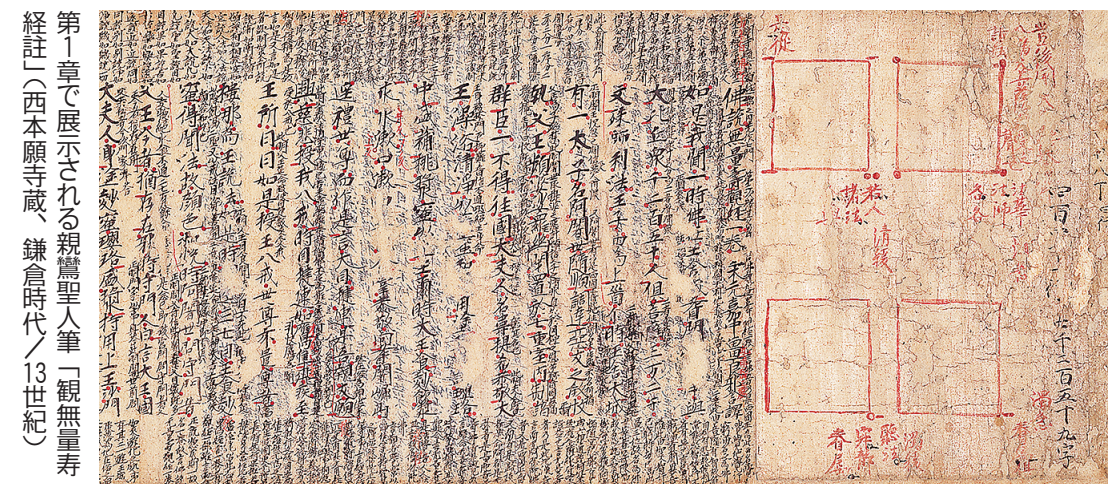
京都国立博物館（京都市東山区）で現在、親鸞聖人生誕850年特別展「親鸞 生涯と名宝」が開催されている。本願寺派など浄土真宗の教団10派で組織する真宗教団連合が特別協力のもと、これまで開催された数々の「親鸞展」を上回る規模で行われている。そこで同博物館研究員の上杉智英さんに親鸞展の魅力と概要を紹介していただいた。

親鸞展の魅力と概要

第1章

親鸞を導く者

まず最初に、親鸞聖人の信仰された阿弥陀仏と浄土三部経を紹介する。親鸞聖人49歳の承久3年（1221）に作られた快慶最晩年の重文「阿弥陀如来立像」（奈良・光林寺）や、若き日の親鸞聖人が「観無量寿経」「阿弥陀經」を書き写し註釈を書き込んだ国宝「観無量寿経註」「阿弥陀経註」（西本願寺）は必見



京都国立博物館（京都市東山区茶屋町527）開館は9時～17時30分（入館は閉館30分前まで）。月曜休館。有料駐車場はあるが、できるだけ公共機関のご利用を。https://www.kyohaku.go.jp/

親鸞と聖徳太子

ここでは親鸞聖人の聖徳太子信仰をうかがいます。重文「惠信尼書状」（西本願寺）には、六角堂に参籠

第4章

親鸞と聖徳太子

西本願寺の阿弥陀堂を飾っていた重文「桜花図」（望月玉泉寺、東本願寺）を同室に展示します。東西両本願寺を往還する「桜」を同時にみる事ができるまたとない機会、ぜひ、お花見にお越しください。

第5章

親鸞の生涯

ここでは親鸞聖人の生涯をめぐります。報恩講でご存じのように、曾孫の寛如上人が編集した親鸞聖人の伝記「御絵伝（御伝抄）」が絵と詞書に分けられる以前

第6章

親鸞と門弟

ここでは門弟に着目し、親鸞聖人の教えの広まりをうかがいます。親鸞聖人のご生涯も人々の思慕は止まず、10年後には墓所に廟堂が建立されます。これが後の本願寺です。

第7章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第8章

親鸞の生涯

最後に親鸞聖人自筆の名号を肖像とともに紹介いたします。現存する親鸞聖人84歳自筆の名号本尊四幅と自賛の「黄地十字名号」（東本願寺）、「鏡御影」（安城御影）、「安城御影」（安城御影）、「安城御影」（安城御影）とともに展示します。親鸞聖人が90年の生涯をかけ、私に伝えてくださった名号。お念仏に出遇えたことを改めて実感していただければ幸いです。

第9章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第10章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第11章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第12章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第13章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第14章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第15章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第16章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第17章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第18章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第19章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第20章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第21章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第22章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第23章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第24章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第25章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第26章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第27章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第28章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第29章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第30章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第31章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第32章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第33章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第34章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

京都国立博物館で開催中



上杉 智英

京都国立博物館研究員（書跡担当）。1976年生まれ。龍谷大学大学院修士課程修了。国際仏教学大学院大学博士号取得（論文博士）。同大学院大学日本古写経研究所主任研究員、京都国立博物館アソシエイトフェローを経て、現職。専門は仏教文献学。山口県下関市・光明寺常住徒。

第2章

親鸞の生涯

ここでは親鸞聖人の生涯をめぐります。報恩講でご存じのように、曾孫の寛如上人が編集した親鸞聖人の伝記「御絵伝（御伝抄）」が絵と詞書に分けられる以前

第3章

親鸞と門弟

ここでは門弟に着目し、親鸞聖人の教えの広まりをうかがいます。親鸞聖人のご生涯も人々の思慕は止まず、10年後には墓所に廟堂が建立されます。これが後の本願寺です。

第4章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第5章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第6章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第7章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第8章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第9章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第10章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第11章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第12章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第13章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第14章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第15章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第16章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第17章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

第18章

親鸞の生涯

ここでは、親鸞聖人自筆の著作や手紙、門弟が書写した著作や法語より親鸞聖人その人に迫ります。可能な限り親鸞聖人の自筆を集めた「親鸞聖人自筆集」が、私に伝えている自筆の著述。私たちは800年の時を超えて親鸞聖人に会ったことを改めて実感していただければ幸いです。

新しい「領解文」 （浄土真宗のみ教え）

南無阿弥陀仏

「われにまかせよ そのまま救う」の 弥陀のよび声
私の煩惱と仏のさとりの 本来一つゆえ
「そのまま救う」が 弥陀のよび声
ありがとう ーといたदैて
この恵みをまかす このままで
救い取られる 自然の浄土
仏恩報謝の お念仏

これもひとえに
宗祖親鸞聖人と
法燈を伝承された 歴代宗主の
尊いお導きに よるものです

み教えを依りどころに生きる者 となり
少しづつ 執われの心を 離れます
生かされていることに 感謝して
むさばり いかにに 流されず
穏やかな顔と 優しい言葉
喜びも 悲しみも 分かち合い
日々に 精一杯 つとめます

待ちに待った親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要である。外に目を移すと、うららかな陽ざしに誘われて、桜は満開である。

▼咲いた花に視線が釘付けとなり、また、散っていく花びらが風に乘ってひらひら飛んでいく様子は惜別の情をおこさせるに十分である。古くから桜の散っていく様子は、無常ということを重ねてきた。「久方の光のどけき春の日にしづ心なく花の散るらむ」と紀友則は詠んでいる。命のはかなさを桜が散る姿にみている。仏教でいう諸行無常ということばが思い浮かぶ。この世に存在するものは全てが移ろいゆくもの。いつまでも同じ形を保つことはありえないという意味である。

▼無常ということを考えるとき、散る